

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

日本共産党
議員団
勝川志保子



自衛隊への個人情報提供は申請で拒否できるように

Q 防衛大臣の依頼に応じて、市民の個人情報や自衛隊に紙媒体で渡している。市民からの申し出によって提供を拒否できるようにするべきではないか。

県内市町の状況を調査し、研究していく

A 自衛隊法で規定されている情報提供について、全国の政令指定都市などで、情報の提供を除外申請できる手続きを定めている自治体があります。今後、県内市町の状況を調査するなど、情報提供を希望しない市民への対応について研究していきます。

「生理の貧困」への対応は申請制でなく配布を

Q 声のあげにくい生理用品の配布は、女性の健康を守る権利保障のため、申請でなく無償配布し、配布する袋に支援につなげるしおりを
入れるなど利用しやすいものに改善を。



掛川市で始まった生理用品の配布

生活困窮者を支援していく

A 生理用品も購入できないほど生活が困窮している世帯を把握し、支援するために新たな制度を開始しました。そのため住所・氏名の記入をお願いしています。また、生活相談を希望する方には、生活困窮者支援制度に繋げ、その方の経済的自立を図りたいと考えています。また、ご提案の件については検討していきます。

【その他の質問事項】

- ・学校再編計画策定にあたっての基本姿勢について
- ・市民の命と生活を守るコロナ対策について

新しい風
藤澤恭子



コロナワクチンの副反応に対する対応は十分か

Q コロナワクチン接種が順次行われ、市民の期待も高いが、副反応に対する不安の声も多い。正確な情報発信や不安要素を払拭する対応を伺う。



副反応の情報を周知し、不安軽減に努めている

A 接種会場では薬剤師に相談ができる体制となつていきます。副反応の情報については、広報誌やホームページ、LINEで適宜お知らせするとともに、ポスター掲示や、リーフレット配布を接種会場や医療機関で実施し、不安軽減に努めています。

掛川市の保育事情の現状と今後の方向性は

Q 待機児童ゼロに向けた施設整備が進む反面、大きな定員割れが続く小規模保育事業所の現状を踏まえ、今後の施設の在り方を考えるべきではないか。

保護者の多様なニーズに対応していく

A 小規模保育事業所の入所児童数は昨年と比較すると減少している状況です。昨年度の施設整備による定員増、雇用状況の悪化、出生数の減少により保育ニーズの上昇が鈍化傾向であることなどが要因であると分析します。小規模保育事業所は保護者の多様な保育ニーズに対応する必要な施設であると考えますので、PR動画をホームページ等に掲載し、広報・案内に努めていきます。

【その他の質問事項】

- ・まちづくり協議会の今後の方向性について